

山口情報芸術センター開館5周年記念事業：教育普及



YCAM長期ワークショップ meet the artist 2008

ツアーパフォーマンス公演「**山口市営P** (やまぐちしえいぴー)」

2008年12月5日(金)ー7日(日) 会場:山口市中心商店街エリア

ツアー出発時刻:12:30ー15:00 (各回3-4名、約20分間隔で出発 所要時間:約90分)

商店街をめぐるながら鑑賞する新しいスタイルの公演

YCAMを中心に、市民とアーティストが共同で取り組む企画、ついに発表

市民とアーティストが年間を通して創造的な活動を実現していくYCAMで大好評のワークショップシリーズ「meet the artist(ミート・ザ・アーティスト)」。4回目となる今年は、国内外で幅広く活躍する演出家の高山明(たかやまあきら)とインターネットを用いた独自の制作活動で注目されるメディア・アーティスト瀬藤康嗣(せとうこうじ)をむかえ、山口市中心商店街を舞台にしたツアーパフォーマンス公演を企画、制作しています。市民とアーティストが共同で挑戦するこの新しいスタイルの舞台公演を、2008年12月5日(金)から3日間、約100名の観客をむかえて発表します。



今回の公演にある「ツアーパフォーマンス」とは、劇場で観客席に座りながら鑑賞する公演ではなく、観客が舞台となる商店街をめぐる、各所に用意された仕掛けや演出、さらに会場からの風景や歴史に出会いながら楽しむことのできる舞台公演です。ワークショップ参加者である市民コラボレーターによる地元山口のリサーチ、さらにアーティストの専門分野である舞台演出やインターネットを用いた表現を通して、ここでしか体験することのできない個性的なパフォーマンス作品が制作されています。時代とともに変化する商店街の姿を見つめながら山口の魅力を発見する濃密な時間、そして新しいスタイルの舞台表現を体験する貴重な機会となります。

まちと文化 山口市では、歴史や文化、伝統を育むまちの「顔」ともいえる中心市街地の活性化に取り組んでいます。

推進事業 <http://www.yamaguchi-iccho.jp/>

主催：財団法人山口市文化振興財団 後援：山口市、山口市教育委員会
 助成：財団法人地域創造 協力：山口市中心商店街
 技術協力：株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所、クワジット株式会社
 企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

.....
【演出】 高山 明(たかやまあきら)

【メディアディレクション】 瀬藤康嗣(せとうこうじ)

【出演】 「meet the artist 2008」市民コラボレーター ほか

<http://meets2008.dip.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ 広報担当：浅原・廣田

〒753-0075 山口県山口市中心商店街7-7 TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

e-mail: information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>



山口情報芸術センター
 Yamaguchi Center for Arts and Media

市民コラボレーターとアーティストが見つけた「視線」 駐車場とアーケードから山口の歴史と眺望を見つめる

2008年5月より本格的に活動してきたワークショップ「meet the artist 2008」。市民コラボレーターとアーティストがリサーチやフィールドワークを通して見つけたキーワードは「駐車場」、「アーケード」、そして「視線」。

会場となる商店街を取り囲むように位置するたくさんの駐車場には、山口の歴史を知るための手がかりがあり、商店街の長いアーケードには山々を見渡すことのできるポイントがあります。今回の公演「山口市営P」では、それらを望む「視線」をソニーCSLと共同開発した専用ナビゲーションツールを用いて、街を歩きながら発見するツアーを体験することができます。これまで約7カ月にわたって活動してきたこのワークショップの成果を、「ツアーパフォーマンス」という新しい公演スタイルによって紹介し、劇場空間では経験できない作品と観客とのあいだにある新たな「視線」のあり方についても提示していきたいと思います。

ツアーパフォーマンス公演 「山口市営P」

2008年12月5日(金)–7日(日) 出発時刻:12:30–15:00(各回3–4名、20分間隔で出発 所要時間:約90分)

会場:山口市中心商店街エリア

演出:高山 明(たかやまあきら) メディアディレクション:瀬藤康嗣(せとうこうじ) 出演:meet the artist 2008市民コラボレーターほか

主催:財団法人山口市文化振興財団 後援:山口市、山口市教育委員会 助成:財団法人地域創造
協力:山口市中心商店街 技術協力:株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所、クウジツ株式会社
企画制作:山口情報芸術センター [YCAM]

*PlaceEngine は、クウジツ株式会社の登録商標です。

*PlaceEngine は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジツ株式会社がライセンスを行っている技術です。

チケット情報

[チケット発売] 10月5日(日) *発売は各公演の前日まで

[料金] 一般:1,800円 *前売り券のみ

2公演セット券 (12月20日(土)/21日(日)開催「Op.∞」とのセット)

一般:3,300円

any会員/特別割引:3000円(販売は12月4日まで)

*ダンスとメディアテクノロジー、チェロのライブ演奏を融合させた、実験的パフォーマンス公演「Op.∞」(オーパス・アンフィニティ)を日本初上演します。

*今回の公演チケットは、電話と窓口のみの取り扱い。

電話

山口市文化振興財団チケットインフォメーション(YCAM内)

083-920-6111 (10:00–19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

本公演について

- 上演時間は90分を予定しております。
- 3名–4名のお客様を1組としてツアーをおこないます。
- 12:30から15:00まで、約20分間隔でツアーへ出発いたします。そのため、各日最終回にご参加のお客様は、終了時間が16:40となります。
- ご希望の上演回については、チケット購入時に担当者よりお伺いいたします。
- 当日の集合場所や時間については、改めてはがきまたはお電話にて通知させていただきます。
- 小学4年生以上対象。
- 当日は動きやすい服装でご来場ください。

本公演についてのお問い合わせ

山口情報芸術センター

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL. 083-901-2222 FAX. 083-901-2216

mta2008info@ycam.jp www.ycam.jp

火曜休館(祝日の場合は翌日)

「meet the artist」とは

市民とアーティストが1年間という長期間にわたってクリエイションをおこなうYCAMのワークショップシリーズ。企画の立案から発表までの活動に参加する市民コラボレーターを公募し、毎年設定されるテーマのもと、山口を拠点にした独自のプロジェクトを実施しています。これまで、カメラやカレンダー、本といったメディアに関連したテーマが選ばれ、その最終成果を展覧会や物販、出版といった幅広い形態で発表しています。YCAM5周年記念事業となる今回は、山口の風景と歴史を生かし、商店街を舞台にした「パフォーマンス」がテーマ。16人の市民コラボレーターと2名のアーティストが新しいスタイルの舞台表現に挑戦しています。



2004年度 佐藤時啓「カメラオブスクラプロジェクト」
ピンホールカメラでパノラマ写真を撮影し、YCAMにて展示。



2005年度 フタバコ「記念日カレンダー」
市民から思い出の写真を募り、カレンダーを制作。現在もYCAMにて販売中。1,600円(税込)

2006年度 吉岡 洋「編集ワークショップ」
山口を題材にした書籍の編集、制作とともに、実際に本を出版。(2008年10月下旬発売)

プロジェクトが始まって7ヶ月が過ぎました。最大公約数的なところで丸くおさめてみんなハッピーみたいな企画はつまらないし、それじゃ市民コラボレーターだって退屈に違いないとの思いから、本気で作品作りにチャレンジしています。そしてこの町でなければ出来ない「ツアー」の構想が生まれ、市民コラボレーターひとりひとりの個性抜きには成り立たない「パフォーマンス」のイメージが立ち上がってきました。見馴れた町が違って見える「ツアーパフォーマンス」、そこで新しい景色に出会っていただければと思います。

高山 明

meet the artist 2008

「パフォーマンスをつくるパフォーマンスワークショップ」の活動

2008年5月

アーティストレクチャー

今回のワークショップで初めてのコラボレーションとなる高山 明と瀬藤康嗣が、それぞれの活動について紹介するレクチャーを商店街で実施しました。



市民コラボレーター応募希望者のための説明会

企画の立案から発表までの活動に参加する市民コラボレーターの参加希望者に向けた説明会をYCAMで実施しました。大学生から主婦、社会人まで年齢層の広い、たくさんの希望者が集まりました。

6月-9月

山口中央商店街をリサーチ

手探りで始まったパフォーマンス制作。月に3回以上のミーティング、リサーチ、勉強会を重ね、浮かび上がってきたキーワードは「駐車場」、「アーケード」、「視線」。



8月

フィールドワークと取材

今回の公演のキーワードについて、市民コラボレーターがリサーチ。フィールドワークや、関係者への取材、ツアールートの制作などをおこないました。

9月-

ツアーパフォーマンス制作が本格化

市民コラボレーターが集めたリサーチ情報を素材に、ツアーパフォーマンスを制作。アーティストも定期的に山口に滞在し、公演の12月までパフォーマンスの演出や内容を決めていきます。



12月

ワークショップ成果発表

ツアーパフォーマンス公演「山口市営P」を開催

1月

web上でも作品を展開

公演の内容をインターネットを用いて体験できる企画を実現。web上でも作品を展開します。



高山 明 (たかやまあきら)

1969年生まれ。演出家、Port B主宰。94年より渡欧、ドイツにて舞台演出、戯曲執筆をおこなうとともに、演出助手として多数の舞台、オペラ等に携わる。帰国後、02年パフォーマンスユニット「Port B (ポルト・ビー)」を結成。04年「In Transit 演劇祭」に招聘されたパフォーマンス作品を構成・演出。H=T. レーマンとの共同プロジェクト(フランクフルト、ベルリン)などドイツでも積極的に活動をおこなっている。05年より、にしずがも創造舎レジデント・アーティスト。近年の主な公演に、05年ハイナー・ミュラー原作「ホラティ人」(シアター X)「Re:Re:Re:place~隅田川と古隅田川の行方(不明)~」(アサヒ・アートスクエア)、06年アイナー・シュレーフ原作「ニーチェ」(BankArt Studio NYKホール)などがある。



瀬藤 康嗣 (せとうこうじ)

1973年生まれ。アーティスト。90年代半ばよりインターネットを用いた音楽表現に関する実験と作品制作に取り組む一方、アートユニット「flow」のメンバーとしてアート作品をYCAMを含むMoMA(ニューヨーク近代美術館)やBatofar(パリ)などの国内外の展覧会やフェスティバルで発表している。現在は鎌倉を拠点に、NPO法人ルートカルチャーの理事長としてインターローカルなアート&コミュニティづくりを実践している。フェリス学院大学音楽学部専任講師。



発売日: 10月下旬(予定) 価格: 1,050円(税込)

meet the artist 2007「編集ワークショップ—1冊の本をみんなでつくる」
YCAMのワークショップで制作された書籍、近日発行!

哲学者の吉岡 洋氏を招いて実施した2007年度の長期ワークショップmeet the artist 2007で制作された書籍『ヨロポン』が、10月末に全国書店、インターネットにて販売されます。大内人形をつくる大内塗職人、小笠原貞雄さんとの対談や、中原中也記念館副館長の中原豊さんとの対談など、山口の文化や歴史を市民の視点からピックアップし、その背景にある思想を吉岡 洋氏が綴る個性的な本に仕上がっています。



山口情報芸術センター
 Yamaguchi Center for Arts and Media

*今回の公演会場は、山口市中心商店街エリアとなります。
 集合場所等については、参加者へ直接ご連絡する予定です。

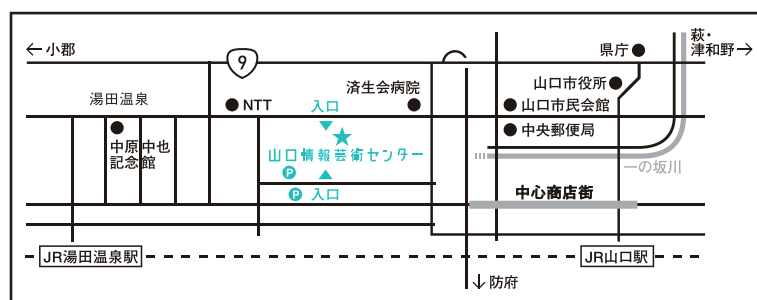
[開館時間] 10:00-20:00 (夜間イベントのある日は22時まで開館)

[休館日] 火曜日(祝日の場合は翌日) / 年末年始(12/29-1/3)

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

Tel: 083-901-2222 Fax: 083-901-2216

<http://www.ycam.jp/> information@ycam.jp



アクセス

飛行機利用 [山口宇部空港まで]
 ・東京から1時間30分
 [山口宇部空港から]
 ・乗合タクシー「空港エクスプレス」でYCAMまで 約1時間
 (前日18:00までの予約制 大隈タクシー Tel: 0120-31-0860)
 ・空港連絡バスでJR新山口駅まで 20分

新幹線利用 [JR新山口駅まで新幹線のぞみで]
 ・東京から約4時間50分
 ・新大阪から約2時間10分
 ・広島から約35分
 ・博多から約40分
 [JR新山口駅からYCAMまで]
 ・防長バス / JRバス 約30分、中園町下車すぐ
 ・JR山口線 18分、湯田温泉駅下車 徒歩25分 / タクシー 5分
 ・JR山口駅 21分、山口駅下車、徒歩25分 / バス10分(中園町か済生会病院前下車) / タクシー 5分

自動車利用 ・広島から 山陽自動車道で約1時間30分、防府東ICから30分
 ・福岡から 九州・中国自動車道で約2時間、小郡ICから25分